**探究の時間　選択内容について（5/31までの課題説明）**

**【ライブ配信の内容】**

**●今、この時期において探究を各自で進めていくことの大切さ・進路決定にも大きく影響**

**●探究は、最中に成長を感じるというよりは、「試行錯誤を通して得た学び」全てが今後に活きるもの**

**●探究は、やればやるほど、わからないことが増えていくもの。**

**●何も考えなくなったら終わり。考えているけれど進まない状態、悩んでいる状態も探究のプロセス**

**●以下の3つ内容から、自分にあったものを選択実施**

**【各選択内容の説明】**

**A　問いが定まっており、課題提出後も新たな疑問がある状態**

(1)引き続きそのテーマ・問いについて自分でサイクルを回しながら深く掘っていく（サイト・書籍・論文）

①自分が出したレポートやポスターを振り返ってみる（振り返ってみて考えたことを問いにしてみる）

②新たに出てきた問いについてさらに調べていき、**探究ノート**に記入

③やりながら、知識と知識を自分の解釈でつなげてみる（これが考察の一種）

(2)自分が探究している問いに関連して（関連していなくても良い）大学の学部・学科調べを行う（別紙のワークシート参照）**※ワークシートの形式が守られていれば何の用紙に書いても良い**

**B　問いはこのままでよいが、課題提出後に燃え尽きてしまい何をして良いのかわからない状態**

(1)探究サイクルを回す思考法をやってみる（自分がやってきた内容から新たな問いやテーマを発見する）

**【問いを分割してみよう】**

→項目別にリストアップし、（筋肉の構造・名称、筋トレとは、筋トレによる効果など）調べていく

　意外とここを飛ばしている人が多い。しっかりと定義をおさえておこう。

**【問いの角度を変えてみよう】**

|  |  |
| --- | --- |
| **６つの視点** | **具体的な問いかけ** |
| 背後にある原因や仕組み | なぜそうなるの？どういうしくみなの？ |
| 視点・視野の拡大 | 別の見方は？　○○の立場から見るとどうか？ |
| 他との関連・他への影響 | どうつながっている？どういう影響がある？ |
| 時間による変化・変容 | どう変わっていく？ |
| 期待される役割 | 何のために？ |
| 目に見える特徴・構造 | どうなっている？ |

(2)発見したら、新たな問いやテーマについて自分でサイクルを回しながら深く掘っていく（サイト・書籍・論文）

**Aの(1)の手順と同じ**

(3)自分が探究している問いに関連して（関連していなくても良い）大学の学部・学科調べを行う（別紙のワークシート参照）**※ワークシートの形式が守られていれば何の用紙に書いても良い**

**C　問いが定まっていない（本当にやりたいことではない）ので、今後このまま続けていけるか不安な状態**

(1)やりたいことではない可能性が高いため、問いの立て方をもう一度やってみる（自分が何に心を動かされてきたのかなどをもう一度振り返る作業）

**【原体験の掘り起こし方】（基本的になぜ？と自分に問いかけ続けていくことが大切です）**

①自分が興味のあることや深く知ってみたいことを羅列してみる（昔、好きだったことや夢中になっていたことも思い出してみる　例：昆虫が好きだった、外国の食文化が好きだった、人に教えることが好きだった）

②それはなぜ興味を持っているのか、なぜ好きだったのか、なぜ夢中になっていたのかを考える

③今探究しているテーマと照らし合わせる

④どっちの方が探究していきたいテーマかを考える

⑤それはなぜかを考える（言語化の作業）

(2)問いをいくつか出したら（A・Bの内容参考）、基礎的な情報を収集する（YouTubeなどを活用し興味を探るのも良い）

(3)自分が所属している分野や、興味のある分野についての学部・学科調べを行う（別紙のワークシート参照）

**※ワークシートの形式が守られていれば何の用紙に書いても良い**